

「大学と電子書籍」の現状と未来

講師

慶應義塾大学 メディアセンター本部
入江 伸 氏

日時

2013年 9月 21日(土)
13:30~17:00(開場:13:15)

会場

京都市国際交流会館 第二会議室

(地下鉄東西線蹴上駅 徒歩6分) アクセス: <http://www.kcif.or.jp/jp/access/>



概要

慶應義塾大学では2007年7月に米Googleと提携し、慶應義塾大学図書館の蔵書約430万冊のうち、著作権保護期間が切れたり、権利関係が明確になっている書籍約12万冊を対象に電子化を進めると発表。2010年には国内出版社の協力を得て「電子書籍利用実験」を開始、そして2012年にはウイングを広げて他大学と連携し「大学図書館電子学術書共同実証実験」(以下、共同実験)をスタートさせるなど、国内における電子書籍利用の促進、また和書コンテンツを増やす取組みなど積極的に取り組んでいます。

そして、共同実験では約900タイトルの和書コンテンツを電子化し、出版社とのやり取りや各大学との利用実験を進めていますが、中心になって進めていただいている入江氏に取組みの意味と未来について熱く語っていただきたいと思います。

質疑応答の時間を多めに確保したいと思いますので、皆様からの積極的な質問を期待しています。

参加費

会員無料(未会員500円)

申込

期限:2013年9月18日(水)

下記の大図研京都支部申込フォームからお申込み下さい。

(<http://www.daitoken.com/kyoto/event/20130921.html>)

申込み多数の場合、会場の収容人数を考慮し、早めに締め切らせていただく場合があります。



親睦会

当日、企画終了後、講師を交えた親睦会を予定しています。(会場等については別途ご案内します)

参加費は4000円程度の予定です。企画申し込み時に、親睦会参加希望の方はわかるようにご記入お願いいたします。

DTKK

主催:大学図書館問題研究会 京都支部
問い合わせ:E-mail kyoto@daitoken.com

DTKK